

令和3年度 事業報告

I 事業推進報告

第1 交通安全推進事業(公益目的事業1)

1 交通安全意識向上事業

(1) 交通安全地域指導者セミナー

交通安全地域指導者セミナーの開催については、内閣府主催の北海道ブロック「令和3年度交通ボランティア等講習会」の開催の意向があり、その内容及び対象者が類似することから、単独開催を行わず国の事業への支援を行いました。

【北海道ブロック交通ボランティア等講習会】

交通安全活動の実践的指導方法の習得や指導者としての資質の向上を図るため、市町村交通安全推進員、交通安全担当職員等の参加者の取りまとめを行い、事例発表者の選考・依頼や講習会資料を配布するとともに、現地とオンラインで講習会に参加し、指導技法を習得しました。

・11月8日・9日 札幌市(ホテルポールスター札幌) 38名参加

(2) 交通安全研修会等への講師の派遣

企業・団体等が開催する交通安全研修会等に、講師として交通安全推進員等を派遣し、交通安全意識の高揚に努めました。

・3回派遣

10月28日(様似町) 11月16日(旭川市) 12月9日(伊達市)

(3) 飲酒運転根絶研修

飲酒運転根絶の活動に必要な知識等に精通した人材を育成するため、市町村職員、交通安全推進員、交通安全指導員等を対象に全道14ヶ所(振興局管内)において研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により実施が難しくなったことから、石狩地区開催の研修会をオンラインで開催し、開催できなかった他の地区協議会や管内市町村も視聴できるよう設定しました。また、当日の様子を収録したDVDを各地区交通安全推進協議会に配布しました。

研修会を開催した地区は次のとおりです。

地区	開催月日	参加者数	備考
石狩ほか	3月15日	44名	アルコール検知器協議会から講師を迎え、オンラインで開催
後志	3月11日	—	書面開催
胆振	2月8日	23名	サッポロビール㈱北海道本社から講師を迎え開催
留萌	12月17日	35名	留萌警察署・留萌振興局から講師を迎え開催
宗谷	12月1日	37名	サッポロビール㈱北海道本社から講師を迎え開催
オホーツク	12月10日	48名	北海道警察北見方面本部から講師を迎え、会場とオンラインを併用し開催
計		187名	

2 調査・研究事業

(1) 交通安全推進員の設置

振興局内に設置されている地区交通安全推進協議会事務局に交通安全推進員14名を配置し、地域の実情に即した効果的な交通安全運動を推進するほか、交通安全に関する調査を実施し地域住民等に情報を提供しました。

(2) デイ・ライト事業の点灯率調査

各地区交通安全推進員により、四半期ごとに1回(4月、7月、10月及び1月)、デイ・ライト運動の点灯率を調査し、調査結果を関係機関・団体に提供しました。

(3) 交通安全推進員の研修

交通安全推進員14名を対象に一堂に介した研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、飲酒運転根絶研修会(石狩地区開催)の動画を送付し、各自視聴する形態で実施するとともに、各地区独自の取組等の調査を行い、推進員と共有しました。

3 広報事業

(1) 交通安全総決起大会の開催

秋の全国交通安全運動行事の一環として予定していた「2021交通安全道民総決起大会」(交通安全対策七者連絡会議主催)は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりましたが、関係機関と連携し、集中的にメッセージ動画を街頭ビジョンで行うとともに、市町村等のデジタルサイネージ等への提供などにより、交通事故防止を訴えました。

(2) 広報啓発事業

ア メディア等を活用した広報活動

正会員である新聞社と連携し、新聞紙面を活用した広範な広報活動を推進しました。

新聞社名	新聞掲載日
朝日新聞社北海道支社	11月13日、11月22日
読売新聞北海道支社	9月21日
北海道日刊スポーツ新聞社	6月23日、7月10日、7月13日、9月18日、9月21日、9月25日、9月27日、11月10日、11月11日、11月14日、11月15日、11月18日

イ 機関誌の発行

当委員会における活動状況や、関係機関・団体の特色ある交通安全活動や地域の問題を掲載した機関誌「ゆっくり走ろう北海道」を発行し、交通安全情報を提供して安全意識の高揚を図りました。

- ・8月、1月発行 各11,000部

ウ ホームページ、SNS等による発信

当委員会のホームページ、SNS(Facebook、ツイッター)、YouTubeチャンネルにより、本道の交通安全情報や取組等について広く発信しました。

(3) 飲酒運転根絶の日決起大会の開催

ア 7月13日の「飲酒運転根絶の日」を広く道民に周知するとともに、道民一人ひとりに「飲酒運転をしない、させない、許さない」という規範意識の醸成を図るため、全道14ヶ所(振興局管内)において「飲酒運転根絶の日決起大会」等を開催しました。

札幌市内での開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人数制限を行い、「令和2年飲酒運転根絶!高校生メッセージコンクール」の受賞作品を紹介した啓発動画や飲酒運転根絶への願いをこめたメッセージと道民宣言の動画などを上映するとともに、YouTubeでライブ配信を実施しました。

イ 飲酒運転根絶の日を周知するとともに、一年を通して飲酒運転根絶事業の普及啓発に使用するチラシやポスター等を作成・配布しました。

- ・チラシ 75,000枚
- ・ポスター 15,000枚

ウ 飲酒運転根絶ロゴマークや飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」について、通年運動や期別運動で作成するポスター、チラシの啓発資材等に掲載するなどして、効果的な活用を推進するとともに、関係団体や企業等の積極的な活用を促進しました。

また、飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」については、のぼり旗やチラシ・SNSでの発信等に活用し、幅広い世代への啓発を展開しました。

(4) 地域連携型飲酒運転根絶事業の実施

ア 「飲酒運転根絶!高校生メッセージコンクール」を実施し、受賞したメッセージをラジオや地域FMにおいてスポット放送をするなどし、飲酒運転を見逃さないという社会全体の意識の醸成を図りました。

- ・募集期間 9月1日~10月31日
- ・応募作品 1,164作品
- ・受賞作品 北海道知事賞、北海道教育委員会教育長賞、北海道警察本部長賞、札幌市長賞、北海道交通安全推進委員会会長賞、北海道交通安全協会会長賞、北海道安全運転管理者協会会長賞、飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞(各1作品、計8作品)
- ・ラジオ放送時期 12月~3月
- ・ラジオ放送回数 342回(全道ラジオ局3局、地域FM局22局)

イ 飲酒運転根絶に関する取組を宣言する飲食店及び酒類販売店等の登録制度について、令和元年

度の旭川市、令和2年度の函館市、帯広市に続いて、本年度はで後志、胆振、留萌管内で取組を開始しました。

・全体登録数 133件（うち、令和3年度 48件）

ウ 教育機関と連携した啓発活動の実施

「北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト」を、道内の専門学校・短大・大学・大学院に通う学生を対象に実施し、受賞作品を当委員会のホームページやSNS等で公開するなど、啓発に活用しました。

- ・応募作品：7作品
- ・受賞作品：最優秀賞、優秀賞、佳作（各1作品）

エ 企業と連携した啓発活動の実施

株式会社セコマ（4月～：約1,100店舗）やイオン北海道株式会社（3月～：約170店舗）と連携し、「飲酒運転根絶卓上ミニのぼり旗」を道内の店舗に設置し、家庭での飲酒から生じる飲酒運転防止についての道民の意識の高揚を図りました。

オ 飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」による飲酒運転根絶の動画を作成し、秋の全国交通安全運動期間中に札幌駅前大型ビジョンで放映したほか、市町村等のデジタルサイネージ等への提供などにより、地域における飲酒運転事故防止に向けた啓発活動を実施しました。

4 表彰事業

(1) ゼロ運動顕彰

交通事故死ゼロ継続期間が、基準日数に達した市町村の交通安全推進委員会等を表彰しました。

月別	市町村名（日数）	市町村計
4月	興部町(5,000)小清水町(2,500)ニセコ町(2,000)士幌町(2,000)苫前町(1,500) 利尻富士町(1,500)置戸町(1,500)三笠市(1,000)剣淵町(1,000)中頓別町(1,000) 斜里町(1,000)羅臼町(1,000)南富良野町(700)浦幌町(700)様似町(500)松前町(500)	1市15町 (16市町)
5月	当麻町(2,000)愛別町(2,000)滝上町(2,000)鶴居村(2,000)豊富町(1,000) 豊頃町(1,000)芦別市(700)積丹町(700)美幌町(700)栗山町(500)壮瞥町(500) 大空町(500)	1市10町1村 (12市町村)
6月	礼文町(4,000)中富良野町(2,000)今金町(1,500)上川町(1,500)占冠村(1,500) 秩父別町(700)仁木町(700)音威子府村(700)天塩町(700)夕張市(500)安平町(500)	1市8町2村 (11市町村)
7月	黒松内町(3,000)陸別町(2,500)豊浦町(2,000)雄武町(1,500)大樹町(1,500) 小平町(700)	6町
8月	木古内町(3,000)弟子屈町(1,500)猿払村(1,000)伊達市(700)中川町(700) 共和町(500)赤平市(300)	2市4町1村 (7市町)
9月	上砂川町(4,000)中札内村(1,000)南幌町(700)新得町(700)釧路町(700)恵庭市(500) えりも町(500)標津町(500)江別市(200)旭川市(200)	3市6町1村 (10市町村)
10月	網走市(1,500)浦河町(1,000)名寄市(1,000)新ひだか町(700)様似町(700) 留萌市(700)奈井江町(500)留寿都村(500)鷹栖町(500)千歳市(300)北斗市(300) 根室市(300)	6市5町1村 (12市町村)
11月	京極町(6,500)栗山町(700)壮瞥町(700)松前町(700)大空町(700) 赤井川村(500)奥尻町(500)美深町(500)浜頓別町(500)津別町(500) 美唄市(300)	1市9町1村 (11市町村)
12月	利尻町(4,500)上士幌町(3,000)八雲町(1,500)北広島市(1,000)増毛町(1,000) 稚内市(1,000)標茶町(500)江別市(300)	3市5町 (8市町)
1月	歌志内市(4,000)真狩村(4,000)東神楽町(2,000)厚岸町(1,500)浜中町(1,000) 浦幌町(1,000)夕張市(700)安平町(700)鹿追町(500)	2市6町1村 (9市町村)
2月	沼田町(3,500)初山別村(2,500)新篠津村(2,000)佐呂間町(1,500) 南富良野町(1,000)共和町(700)和寒町(500)足寄町(500)富良野市(300) 紋別市(300)札幌市(100)	3市6町2村 (11市町村)
3月	芦別市(1,000)積丹町(1,000)美幌町(1,000)赤平市(500)森町(500) 北見市(200)	3市3町 (6市町)
4月から3月まで延べ26市83町10村（計119市町村）を表彰		

(2) 指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員121名を表彰しました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止)

(3) 母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した交通安全母の会会員5名を表彰しました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止)

(4) 一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした2個人・2団体を表彰しました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止)

(5) 業務貢献表彰

ア 7月20日、全国共済農業協同組合連合会北海道本部より681,956円、11月22日に681,956円の計1,363,912円を受納し、12月14日に甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。

イ 9月1日、空知建設業協会より109,500円(交通遺児育英事業と合わせると219,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。

ウ 9月28日、建設産業交通安全推進北海道本部の寄付贈呈式に吉本会長が出席し、500,000円(交通遺児育英事業と合わせると1,000,000円)を受納し、後日、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。

エ 3月25日、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より150,000円(交通遺児育英事業と合わせると300,000円)を受納し、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。

オ その他、八剣山パークゴルフ場などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

5 交通安全啓発支援事業

(1) 交通安全運動等啓発事業

ア 交通安全運動の推進を図るため、啓発資材を作成し、市町村や関係機関、団体等に配布しました。
・ポケットティッシュ 150,000個

イ デイ・ライト運動推進事業

啓発資材等にデイ・ライト運動の標語を併記して、デイ・ライト運動の浸透・定着を図りました。

ウ 期別運動

(ア) 春、夏、秋及び冬の4期40日間、関係機関・団体と連携し、交通安全運動の重点を中心に初日行事や街頭啓発等を展開しました。

運動の種類	運動期間	主要行事
春の全国交通安全運動	4月6日～15日	道民の集い(4月6日)
夏の交通安全運動	7月13日～22日	飲酒運転根絶の日決起大会(7月13日)
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中のため、動画放映等で啓発
冬の交通安全運動	11月13日～22日	セーフティコール(11月12日)

(イ) 各期の交通安全運動の重点等を周知させるため、交通安全運動ポスター・チラシ等を作成し、市町村や関係機関・団体等に配布しました。

種別	作成時期	作成部数
ポスター	夏、冬の交通安全運動用	各 9,200枚
チラシ	春、秋の全国交通安全運動用	各 28,000枚
	夏、冬の交通安全運動用	夏 51,000枚、冬 51,000枚

(※春と秋のポスターは、全国運動により内閣府で作成)

エ 交通安全ライブラリー事業

(ア) 交通安全に関する視聴覚教材(ビデオ・DVD)を各市町村交通安全推進委員会や各団体等に貸出しました。

・貸出件数197件 視聴者(延べ数)14,126名

(イ) 各種大会や交通安全パネル展で使用する交通安全パネル等を各市町村や各団体等に貸出しました。

オ 市町村等の広報活動支援のため、作成した広報啓発用音声データをホームページに公開しました。

(2) 自転車の交通事故防止事業

ア 自転車利用時の安全運転意識の向上や、マナーアップを図るため、新小学生・新中学生及び新高校生を対象に、「自転車安全利用五則」等を盛り込み、生徒をはじめ、その保護者や指導者にも役立つ内容の「自転車安全啓発リーフレット」を作成・配布しました。

- ・リーフレット（小学生用） 46,000枚【新1年生】
- ・リーフレット（中学生用） 32,000枚【新1年生】
- ・リーフレット（高校生用） 35,000枚【新1年生】

イ 関係機関・団体と連携し、各期の交通安全運動期間や自転車安全日等において街頭啓発を行い、自転車の安全利用を呼びかけました。

(3) 幼児の事故防止事業

幼稚園、保育所、認定こども園等で結成されている「こぐまクラブ」の活動を支援するため、クラブ活動状況を紹介する「こぐまクラブ活動の手引き」を作成し、道内全幼稚園、保育所、認定こども園等に配布しました。

- ・活動の手引き 2,200部

6 交通安全運動の展開（関係機関等との連携事業）

(1) 飲酒運転根絶事業

平成27年12月に制定された「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」等をホームページ等で周知を図っているほか、各種飲酒運転の根絶に向けた街頭啓発等へ協力をし、飲酒運転の根絶を呼びかけました。

(2) スピードダウン運動

関係機関・団体等と連携し、各期の交通安全運動期間や集い等でスピードダウンを呼びかけました。

(3) シートベルト全席着用

関係機関・団体等と連携し、各期の交通安全運動や集い等で全ての座席でシートベルト・チャイルドシートの確実な着用を呼びかけました。

(4) 居眠り運転防止

関係機関・団体等と連携し、夏の交通安全運動等で居眠り運転防止を呼びかけました。

(5) 交通安全の日等の運動

ア 飲酒運転根絶の日

7月13日の「飲酒運転根絶の日」には、北海道飲酒運転の根絶に関する条例に基づき、道民の飲酒運転根絶の気運を高めるための啓発活動や広報活動を関係機関・団体と連携しながら、実施しました。

イ 交通事故死ゼロを目指す日

道民の交通安全意識の高揚を図るため、関係機関・団体等と連携し「交通事故死ゼロを目指す日」の啓発を実施し、「交通事故死ゼロを目指す日」の周知と安全意識の高揚を図りました。

- ・ 4月 9日 道庁赤れんが庁舎前庭
- ・ 9月30日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 自転車安全日

毎月第1、第3金曜日の「自転車安全日」には、関係機関・団体等と連携し、歩行者保護、交差点の安全通行、子供のヘルメット着用等、マナーの向上と自転車の安全利用を呼びかけました。

エ その他の交通安全対策

① 札幌地区二輪車普及安全協会等の主催による「第19回バイクにフレンドシップ in さっぽろ」において、関係機関・団体等と協力をしながら、啓発を実施し事故防止を図りました。

- ・ 7月 4日 道庁赤れんが庁舎前庭

② 北海道高等学校長協会の主催による「令和3年度第40回交通安全標語、ポスターコンクール審査会」で審査員として、標語の部で最優秀賞等計10編、ポスターの部で最優秀賞等10作品を選考いたしました。

- ・ 10月 4日 ホテルライフオーブ札幌

③ 一般社団法人札幌電設業協会の主催する交通安全街頭啓発に参加し、事故防止を訴えました。

- ・ 10月18日 札幌市中央区大通東3丁目付近

④ 北海道交通安全指導員連絡協議会の主催による「令和3年度交通安全指導員ブロック研修会」を後援するとともに、交通安全指導員のための交通事故防止等の研修を行いました。

- ・ 10月28日 様似町中央公民館

オ 各種キャンペーン・大会等と連動した運動

- ① 令和3年度工事着工期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
 - ・期間 5月1日～6月30日
 - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ② 第48回令和3年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール（後援）
 - ・主催 農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会北海道本部
- ③ 第19回バイクにフレンドシップ in さっぽろ（後援／出席）
 - ・期間 7月4日
 - ・主催 一般社団法人日本二輪車普及安全協会、札幌地区二輪車普及安全協会
- ④ 第49回北海道青年祭兼第69回全国青年大会予選会及び第72回全道青年大会兼第69回全国青年大会予選会（協賛）
 - ・期日 5月29日（青年祭）、7月17日（青年大会）
 - ・主催 北海道青年団体協議会
- ⑤ HBCラジオ交通安全キャンペーン（後援）
 - ・期間 9月25日～12月14日
 - ・主催 北海道放送株式会社
- ⑥ 令和3年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
 - ・期間 10月1日～11月30日
 - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑦ 令和3年度交通安全指導員ブロック研修会（後援／出席）
 - ・期間 10月28日
 - ・主催 北海道交通安全指導員連絡協議会
- ⑧ 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2022（後援）
 - ・期間 1月1日～3月31日
 - ・主催 読売新聞北海道支社、㈱読売エージェンシー北海道支社

7 交通事故防止支援事業

高齢者の交通事故防止事業

- (1) 各地区交通安全推進協議会や市町村、老人クラブ、交通安全母の会等と連携し、夜光反射材の有
用性と効果を体験・認識することにより、反射材の普及促進と高齢者の事故防止を図りました。
- (2) 高齢者を始めとして、子供やその親が世代の垣根を越えて相手への理解と思いやりを深めながら
自ら参加し、考え、学ぶ「世代間交通安全事業」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
内容を変更し、士別市交通安全運動推進委員会と連携して、士別市内の幼稚園・保育園の園児がオ
リジナルの反射材を作成、家族（両親、祖父母）にプレゼントし、その際に反射材の効果を家庭内
で話し合うことで反射材の着用を促し、交通事故防止に努めました。
 - ・2月18日～3月4日 士別市幼稚園（11名）、あいの実保育園（22名）、北星保育園
（18名）、あさひ保育園（2名）カトリック士別幼稚園（17名）、上士別保育園（4名）
計74名参加
- (3) 市町村交通安全推進委員会が実施する「高齢者事故防止モデル事業」に必要な助成を行い、事故
防止を図りました。

○助成先一覧

（単位：円）

助成先	事業内容	助成額
芦別市	安全教室等の開催と夜光反射材の配布	41,100
滝川市	各種夜光反射材の普及促進	15,000
砂川市	夜光反射材やチラシの作成・配布	10,000
雨竜町	交通安全教室の開催	6,000
札幌市	夜光反射材やチラシの作成・配布	100,000
江別市	夜光反射材やチラシの作成・配布	45,500
小樽市	講話及び夜光反射材の普及促進	24,000
共和町	講話及び夜光反射材の配布等	78,960
函館市	交通安全教室等の実施と夜光反射材の配布	19,000
乙部町	夜光反射材の配布	18,000
旭川市	交通安全教室等の実施と夜光反射材の配布	48,930

士別市	講習会等の開催と夜光反射材の配布	14,850
紋別市	高齢者への交通安全グッズの配布	50,024
佐呂間町	夜光反射材やチラシの作成・配布	15,873
新得町	講習会の開催	28,563
幕別町	夜光反射材の配布	10,000
合計	10市6町	525,800

※助成先は「各市町村交通安全推進委員会」等

8 寄付金の受納

交通安全活動の支援のために、次の団体等から寄付金を受納いたしました。

寄付金合計 金2,196,173円

[内訳]

(単位：円)

団体等	金額	備考
全国共済農業協同組合連合会北海道本部	1,363,912	
建設産業交通安全推進北海道本部	500,000	公2事業と合計1,000,000円
小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会	150,000	公2事業と合計300,000円
空知建設業協会	109,500	公2事業と合計219,000円
八剣山パークゴルフ場など	72,761	9件
合計	2,196,173	13件

第2 交通遺児育英事業(公益目的事業2)

1 奨学金の貸付

中学生、中等教育学校生、高等学校生、高等専門学校生(高等課程・専門課程)を対象に、貸付を行っております。令和4年3月末日現在の奨学生は47名(貸付中2名、猶予・据置中7名及び返還中38名)です。

なお、制度創設の昭和51年度から総計381件、貸付総額は219,855,000円となっております。

(1) 資金造成事業

黄色い羽根募金活動のための羽根等を、実施市町村へ配付しました。

(2) 広報啓発活動事業

機関誌「フレンドリー通信」を9月に1,600部、3月に2,000部発行しました。

(3) 称賛事業

ア 寄付者への感謝状の贈呈

- ① 9月1日、空知建設業協会より109,500円(交通安全推進事業と合わせると219,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。
- ② 9月28日、建設産業交通安全推進北海道本部の寄付金贈呈式に吉本会長が出席し、500,000円(交通安全推進事業と合わせると1,000,000円)を受納し、後日、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- ③ 3月25日、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より150,000円(交通安全推進事業と合わせると300,000円)を受納し、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- ④ その他、ライダーズミーティング寿都実行委員会などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

イ 寄付者の朝日新聞への掲載 掲載日6月30日

(4) 奨学金返還未納者調査

返還未納者を確認するため、電話及び手紙による催促を行いました。

2 作文募集事業

交通遺児奨学生を対象とした作文コンテストを実施しました。

・応募者 1名

3 特例奨学金制度に基づく給付状況

貸付金返還中のうち10名が、令和3年度中に貸付額の70%の返還に達し、当委員会から残りの30%に相当する額を給付し、返還を完了しました。

・給付額合計 金1,992,000円

4 新型コロナウイルスの影響を受けている交通遺児奨学生に対する緊急経済的支援

新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、特に困難や不安を抱えている交通遺児奨学生等が増えていくことを鑑み、当該奨学生が安心して修学等が継続できるよう、緊急経済的支援として、次のとおり一律10万円の給付等を行いました。

ア 奨学生として貸付をしている者2名、大学等に在学して返還期間の猶予を受けている者5名の計7名に対しては、1人あたり100,000円を臨時給付金として支給しました。

イ 返還中等の者50名のうち、26名から減免申請があり、貸付額の残額から1人あたり最大100,000円の減免をしました。

5 寄付金の受納

交通遺児育英事業のために、次の団体等から寄付金を受納いたしました。

寄付金合計 金1,789,701円

[内訳]

(単位：円)

団体等	金額	備考
1 寄付（寄付） 寿都町女性マイカークラブはまなすほか	111,093	10件
2 寄付（募金） 建設産業交通安全推進北海道本部 小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会 空知建設業協会 ライダーズミーティング寿都実行委員会ほか	500,000 150,000 109,500 248,232	公1事業と合計1,000,000円 公1事業と合計300,000円 公1事業と合計219,000円 8件
3 羽根募金 ニセコ町交通安全推進委員会など	134,481	3件
4 箱募金 札幌北交通安全協会など	536,395	82件
合計	1,789,701	106件

第3 交通安全推進団体交付金事業(その他事業)

1 地区活動の充実・支援

ア 地区交通安全推進協議会の運営と地区管内の交通安全運動の推進に係る啓発資材作成等の支援を行い、その充実を図りました。

イ 地区交通安全推進協議会が地域の実情にあった独自の交通安全活動を展開するため、必要な助成を行い、事業の推進に努めました。

地 区	事業名
石 狩	高齢歩行者・高齢運転者の事故防止啓発活動
後 志	春の行楽期及び秋の輸送繁忙期の交通安全運動
胆 振	春の行楽期及び輸送繁忙期街頭啓発における交通安全用チラシ作成・配布事業
日 高	飲酒運転根絶対策事業
渡 島	夜光反射材普及啓発パネル展
檜 山	新成人・新入学児童に対する啓発運動
上 川	交通安全啓発事業（高齢者交通安全講習事業、新入学児童交通安全啓発事業）
留 萌	オロロンライン交通安全特別啓発事業
宗 谷	交通死亡事故抑止事業
オホーツク	こどもと高齢者の事故防止事業
十 勝	交通事故死ストップ十勝百日作戦
釧 路	夏の行楽期の交通安全キャンペーン及びバイクの日啓発事業
根 室	7大キャンペーンの展開と交通安全教育の普及

2 母親交通安全活動の強化

北海道交通安全母の会の事務局業務を行うほか、自主的に実施する交通安全事業を支援するために必要経費の一部助成を行いました。

ア 「無事故の日」の啓発

イ 北海道交通安全母の会会長表彰の実施

長期にわたり交通安全運動の推進に尽力し、その功績が顕著な交通安全母の会の会員9名を表彰しました。

ウ 北海道交通安全母の会研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため、機関誌「交母ほっかいどう」の地域交通安全母の会活動の掲載内容を充実させ、その情報を会員と共有しました。

エ 交通安全啓発活動の支援

交通安全母の会が実施する啓発活動時に必要な啓発資材を作成・配布して活動の支援を行いました。

第4 管理事業(法人会計)

1 社員総会の開催

- (1) 日時 令和3年6月7日 14時00分～14時28分
- (2) 場所 札幌市(ホテルポールスター札幌)
- (3) 会員総数 259会員
出席会員 237会員(うち委任状216会員)
- (4) 議題
報告事項
第1号報告 令和3年度事業計画書及び収支予算書の件
決議事項
第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告承認の件

2 理事会の開催

【第1回】

- (1) 日時 令和3年5月20日(書面開催)
- (2) 議題
決議事項
第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告承認の件
報告事項
第1号報告 交通遺児奨学部会委員選任の件
第2号報告 令和2年度特定資産運用結果の件
第3号報告 令和3年度における新型コロナウイルス感染症の影響を受けている交通遺児奨学生に対する経済的支援の件
- (3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき、理事の全員が書面により同意

【第2回】

- (1) 日時 令和4年3月11日 13時30分～14時30分
- (2) 場所 札幌市(札幌駅前ビジネススペース)
- (3) 出席者
理事総数 29名
出席理事 20名
出席監事 2名
- (4) 議題
報告事項
第1号報告 令和4年度特定資産運用計画の件
第2号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件
決議事項
第1号議案 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の件
第2号議案 令和4年度役員改選の件
第3号議案 諸規程の改正の件
第4号議案 令和4年度定時社員総会の日時及び場所並びに目的事項の件

その他

交通遺児育英事業の件

令和4年度第1回理事会の協力依頼の件

3 幹部理事会の開催

(1) 日時 令和3年11月11日 9時50分～10時45分

(2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）

(3) 出席者

構成員数 5名

出席理事 4名（会長、筆頭副会長、副会長2名）

出席監事 2名

(4) 議題

報告事項

第1号報告 令和3年度事業経過報告の件

第2号報告 令和4年度予算要求（北海道補助金）に伴う要望等の件

協議事項

令和4年度役員改選（方針案）の件

今後の日程（予定）の件

その他

4 交通遺児奨学部会の開催

(1) 日時 令和3年4月19日 13時30分～14時20分

(2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）

(3) 議題

報告事項

第1号報告 令和2年度交通遺児奨学生の貸付・返還状況の件

議決事項

第1号議案 令和3年度交通遺児奨学生採用の件

第2号議案 令和3年度における新型コロナウイルス感染症の影響を受けている交通遺児奨学生に対する経済的支援の件